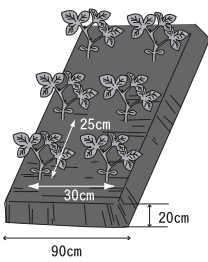


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

エダマメの上手な作り方



1 土作り・定植



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

2 追肥



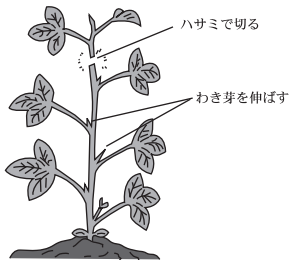
※マメ科の植物は、根に寄生する根粒菌が窒素分を作るため窒素成分の多い肥料を与えると、莖葉ばかりが繁ってサヤの実つきが悪くなります。追肥の際は、リン酸やカリ肥料を中心に施します。

- ③草丈が20cmくらいに伸びてきたら、株の周りに化成肥料を施します。株が倒れないように土寄せして下さい。追肥は収穫までに2回ほど行います。

3 摘芯

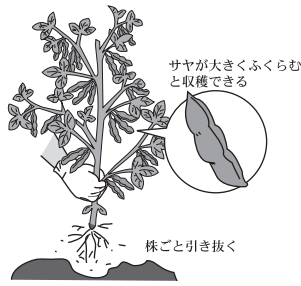
- ④本葉が5～6枚になったら、わき芽を伸ばすために摘芯します。

※極早生と表示のある品種は特に摘芯は必要ありません。



4 収穫

- ⑤サヤが大きくふくらんでハリが出てきたら1～2個試し、おいしければ株ごと抜いて収穫します。時期を逸すと、実が硬くなっておいしくないので注意しましょう。

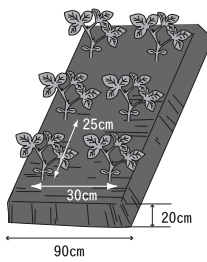


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

エダマメの上手な作り方



1 土作り・定植



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

2 追肥



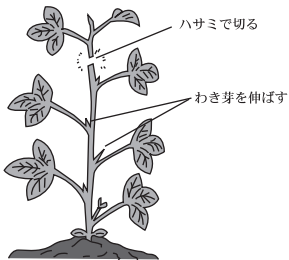
※マメ科の植物は、根に寄生する根粒菌が窒素分を作るため窒素成分の多い肥料を与えると、莖葉ばかりが繁ってサヤの実つきが悪くなります。追肥の際は、リン酸やカリ肥料を中心に施します。

- ③草丈が20cmくらいに伸びてきたら、株の周りに化成肥料を施します。株が倒れないように土寄せして下さい。追肥は収穫までに2回ほど行います。

3 摘芯

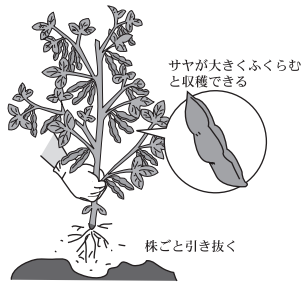
- ④本葉が5～6枚になったら、わき芽を伸ばすために摘芯します。

※極早生と表示のある品種は特に摘芯は必要ありません。



4 収穫

- ⑤サヤが大きくふくらんでハリが出てきたら1～2個試し、おいしければ株ごと抜いて収穫します。時期を逸すと、実が硬くなっておいしくないので注意しましょう。

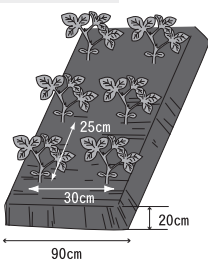


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

エダマメの上手な作り方



1 土作り・定植



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

2 追肥



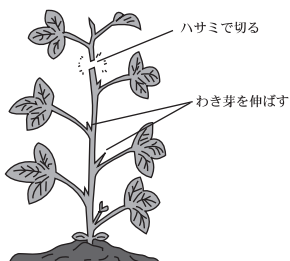
※マメ科の植物は、根に寄生する根粒菌が窒素分を作るため窒素成分の多い肥料を与えると、莖葉ばかりが繁ってサヤの実つきが悪くなります。追肥の際は、リン酸やカリ肥料を中心に施します。

- ③草丈が20cmくらいに伸びてきたら、株の周りに化成肥料を施します。株が倒れないように土寄せして下さい。追肥は収穫までに2回ほど行います。

3 摘芯

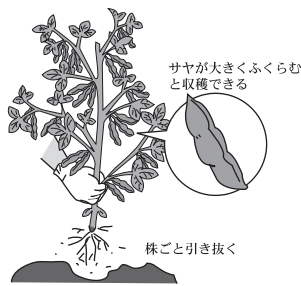
- ④本葉が5～6枚になったら、わき芽を伸ばすために摘芯します。

※極早生と表示のある品種は特に摘芯は必要ありません。



4 収穫

- ⑤サヤが大きくふくらんでハリが出てきたら1～2個試し、おいしければ株ごと抜いて収穫します。時期を逸すと、実が硬くなっておいしくないので注意しましょう。

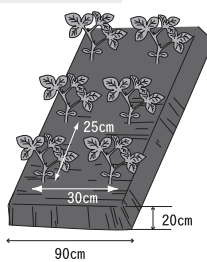


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

エダマメの上手な作り方



1 土作り・定植



- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。
(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。
(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

2 追肥



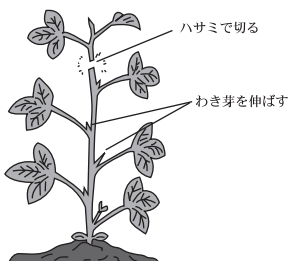
※マメ科の植物は、根に寄生する根粒菌が窒素分を作るため窒素成分の多い肥料を与えると、莖葉ばかりが繁ってサヤの実つきが悪くなります。追肥の際は、リン酸やカリ肥料を中心に施します。

- ③草丈が20cmくらいに伸びてきたら、株の周りに化成肥料を施します。株が倒れないように土寄せして下さい。追肥は収穫までに2回ほど行います。

3 摘芯

- ④本葉が5～6枚になったら、わき芽を伸ばすために摘芯します。

※極早生と表示のある品種は特に摘芯は必要ありません。



4 収穫

- ⑤サヤが大きくふくらんでハリが出てきたら1～2個試し、おいしければ株ごと抜いて収穫します。時期を逸すと、実が硬くなっておいしくないので注意しましょう。

